療育教室から発信

はっぴい新聞

児童発達支援　放課後等デイサービス

エイビイシイ ひまわり教室
社会福祉法人杉の子会

2月号
2024 vol.47

児童発達支援

お正月遊び

お正月遊びというと様々な遊びを思い浮かべると思いますが、今回は紙皿を使った吹きゴマと羽根つきを作りました。
製作は、指導員の指示を聞く、指先の操作、道具の使い方をねらいとして行っています。又、自由に自分で作ることができることで達成感や自信にも繋がり、子ども達も楽しく取り組める課題です。

～吹きゴマ～

紙皿の端を複数ハサミで切り込みを入れ、一つの角を同じ方向に折っていくと土台は完成です。あとは好きなようにシールや絵を描いて飾りつけをしました。ストローの先を折ったところに向けて吹くと勢いよく回ります。最初はストローを動かしすぎたり、吹く勢いが足りないとお皿を動かしてしまったり、、、。苦戦しながらも諦めず挑戦して回すことができたときはとても嬉しそうでした。

～羽根つき～

羽子板は、紙皿に割りばしを付け、割りばしを包むように折りテープを止めると土台は完成です。装飾がしやすいように好きな画用紙を張り付け、シールやペンで顔や花などを作っていました。羽根は、丸めたティッシュにカラーセロハンで包んでティッシュが出ないよう輪ゴムで止めると出来上がりです。
羽根や羽子板の大きさによっては、羽根を落としてタイミングよく打つことが難しいようで、腕を速く振りすぎたり、当てることができても力が入りすぎて違う方向に行くこともありました。「いくよー」「いいよ」や「あれ?腕に当たっちゃった！」「違うところにいっちゃった！」とうまくできなくても楽しんで取り組むこともできており、言葉などのやり取りにも繋がっていました。一人で何回羽根をつけるかやってみたり、友達と打ち合って遊ぶだけでなく、羽根を小さくしてみたり、バランスディスクなどの不安定な場所で行ってみたりと難易度を上げて遊び方を工夫していくとより楽しめる遊びだと思います。
今回は紙皿を使って作りましたが、厚紙や段ボール、牛乳パックなどでも作ることができるので、是非、お家でも一緒に作って遊んでもらえたらと思います。

Instagram　You Tube

https://abc24.jp

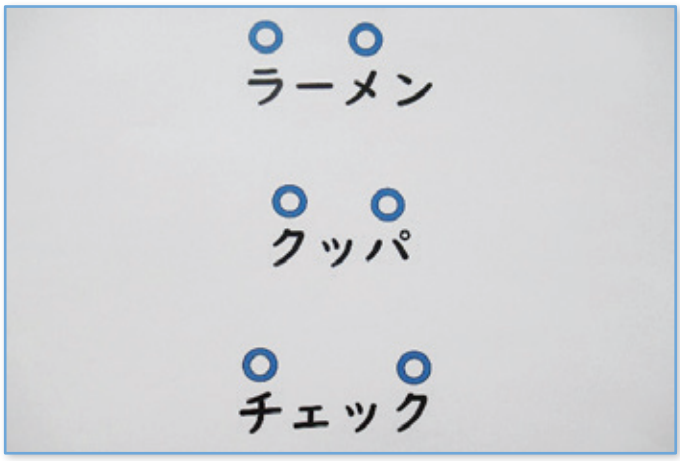
放課後等デイサービス

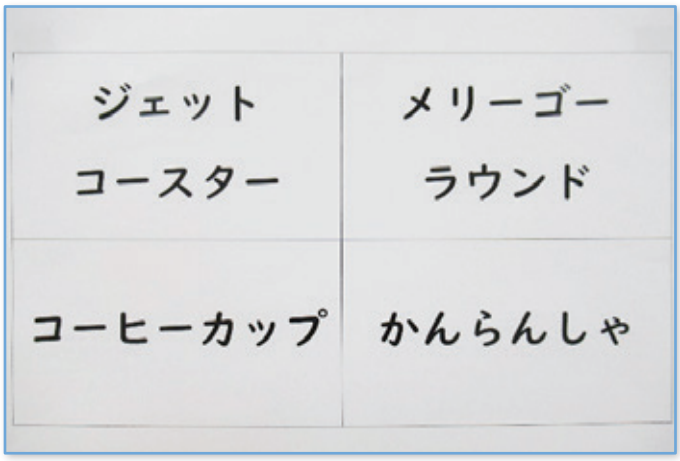
聞く　～注意力のトレーニング～

「聖徳太子ゲーム」や「赤白ゲーム」「スリーヒントクイズ」といった定番の活動以外にも、聞く事と音韻認識のトレーニングを合わせた、「音数ゲーム」といった新しい活動も行いました。

「音数ゲーム」は言葉の音数に合わせて叩かれる太鼓を聞き、どの言葉だったかを当てるという内容で、拗音、促音、長音記号の時には太鼓は叩かないので、そこで聞き分ける力が必要となります。

聞いて覚えたリズムを自分で叩いて確認する子や、貼り出してある言葉（四択）を目で追いながら確認する子などやり方は様々でしたが、どの子も“集中して聞く”という事ができていました。





子どもにとって「話を聞く」というのは中々難しい課題であり、よく保護者の方からも「全体の指示を聞き逃してしまう」「よそ見をして聞いていない」といった悩みの相談を受けます。

集中力が続かず長く聞いていられない、周囲の雑音に気を取られて重要な話に集中できない等様々な要因が話を聞くことの妨げになっていますが、話を聞いてもらう為には話をする側にもスキルが必要です。集中しやすい環境設定、わかりやすく簡潔な説明といった点に注意をしながら支援を行っています。自発的に聞く姿勢になってもらえるよう、楽しみながら取り組める活動を今後もたくさん考えていきたいと思います。

子育てハート便

公認心理師　鈴木

こんにちは。4月より放課後等デイサービスで指導員を務めさせていただいている鈴木です。子どもたちにも、顔や名前を覚えてもらい、少しずつゆとりを持ち合わせながら、楽しく支援にあたらせていただいております。

引き続き、毎回子どもたちとの関わりを大切に、楽しみながら、私自身も指導員として成長していけたらと思っております。

まだまだ至らない点もありますが、支援を重ねながら、意識を配れる範囲を広げて、また、子どもたちのフィードバックを敏感に感受しながら、よりよい支援構成、場作り、子どもたちとの関わりを育んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

WISC-Ⅳ 知能検査

自信を育て、
挑戦できるようになるために

対象：5歳～16歳11ヶ月
料金：5,000円
公認心理師：金井